

公立黒川病院です。

◎私たちの施設の特徴◎

- ・当院は、ベッド数170床（一般病棟55床、地域包括ケア病棟55床、回復期リハビリテーション病棟60床）の病院です。
- ・今年度から地域包括ケア病棟を新たに開設しました。地域包括ケア病棟では疾患別リハビリテーション対象の患者さんは40分以上、対象外の患者さんにおいても医師がリハビリを必要と判断した方については日常生活動作維持、向上を目標に20分程度リハビリを行っております。急性期治療を経て、状態の安定した患者さんが在宅や介護施設へ円滑に退院できるように支援しております。
- ・「すべては地域のみなさんのために」を理念とし、急性期から回復期、在宅へと途切れのないリハビリを提供しております。
- ・リハビリテーションスタッフは理学療法士21名、作業療法士14名、言語聴覚士5名で医療保険（一般病棟、外来、地域包括ケア病棟、回復期リハ病棟）と介護保険（通所リハ、訪問リハ）を担っております。



病院外観



リハスタッフ

<リハビリテーションに関する連絡先>

公立黒川病院

住所：〒981-3682 黒川郡大和町吉岡字西松木 60

電話：022-345-3101（内線：193, 163, 336）

URL：http://www.jadecom.or.jp/jadecomhp/kurokawa/

黒川
地区

リハビリネットワーク通信

第6号

（平成29年7月発行）

発行元：

宮城県仙台保健福祉事務所

健康づくり支援班

022-363-5503（直通）

Qにお答えします

- Q. 患者様が病院を退院して、それぞれのご自宅に戻られるにあたり、地域との連携の視点で取り組んでいることや工夫していることはありますか。（希望の杜）
- A. ご自宅に退院される患者さんには、リハビリスタッフが伺いし、家屋環境の確認や退院後の生活を想定した近隣スーパーへの買い物、バスの乗車練習等を行っています。その他、退院された患者さんが病棟でボランティアとしてレクリエーション活動（音楽療法や大正琴演奏など）を行って下さり、退院後いきいきと活動している姿は入院中の患者さんにとって励みになっているようです。

バトンでつなごう

一問一答 ～紹介リレー～



次回：ツクイ大和さんへバトンタッチ

●質問コーナー●

- Q. 退院して通所または訪問介護を利用する際に経過報告書を作成していますが、こういう情報があれば知りたいと思うことを教えてください。

「ムせるけどいつかは常食食べたいな」（言語聴覚士）

【解説】今は嚥下食で形がないものを食べているけれどリハビリを頑張つて、いつかは自分の好きな食べ物が食べられるといいなという気持ちを表した一旬。

「リハビリの 効果出始め 自信湧く」（通所リハ利用者様）

【解説】今まで出来なかったことが少しずつでも出来るようになったことで、リハビリの効果を実感し、これからの取組に自信が持てる感じている。

「スタッフの 熱い思いが ヤル気生む」（通所リハ利用者様）

【解説】スタッフの利用者さんに対する熱意ときめ細かな取組が伝わり、利用者さんにヤル気を起こさせている。

リハビリ川柳